multi-use integrated tone arm

●マルチユース・インテグレーテッド・トーン・アーム



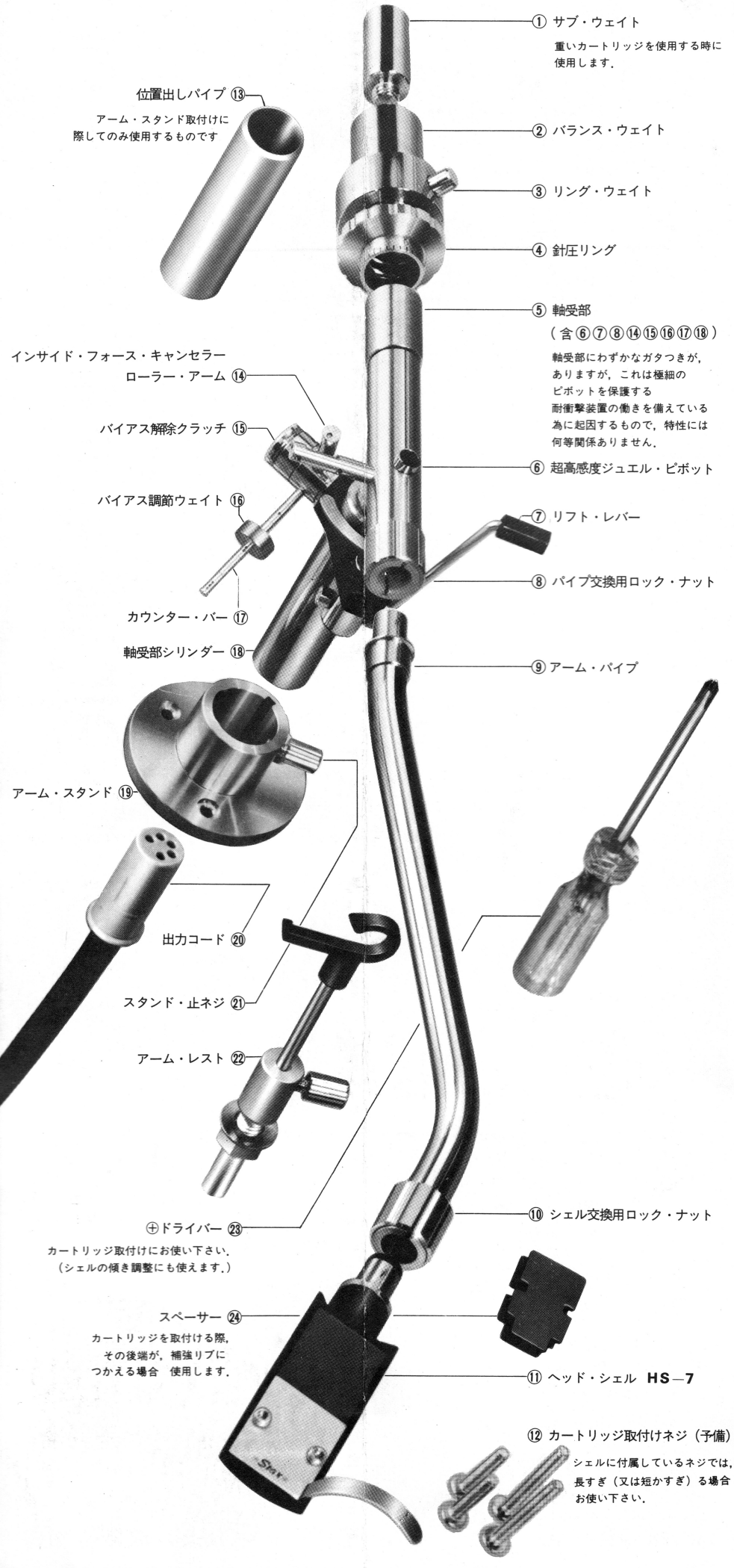
UA-7
UA-70

このたびは，STAXの
マルチユース・インテグレーテッド・トーン・アーム
UA—7/70を
お買い上げ頂きましてありがとうございました.
UA—7/70の取付けと調整は
この説明書に従って行って下さい.

≡Stax≡

取扱説明書

各部の名称



① サブ・ウェイト
重いカートリッジを使用する時に使用します.

② バランス・ウェイト

③ リング・ウェイト

④ 針圧リング

⑤ 軸受部
(含⑥⑦⑧⑭⑮⑯⑰⑱)
軸受部にわずかなガタつきが,ありますが,これは極細のピボットを保護する耐衝撃装置の働きを備えている為に起因するもので,特性には何等関係ありません.

⑥ 超高感度ジュエル・ピボット

⑦ リフト・レバー

⑧ パイプ交換用ロック・ナット

⑨ アーム・パイプ

⑩ シェル交換用ロック・ナット

⑪ ヘッド・シェル **HS—7**

⑫ カートリッジ取付けネジ(予備)
シェルに付属しているネジでは,長すぎ(又は短かすぎ)る場合お使い下さい.

位置出しパイプ ⑬
アーム・スタンド取付けに際してのみ使用するものです

インサイド・フォース・キャンセラー
ローラー・アーム ⑭

バイアス解除クラッチ ⑮

バイアス調節ウェイト ⑯

カウンター・バー ⑰

軸受部シリンダー ⑱

アーム・スタンド ⑲

出力コード ⑳

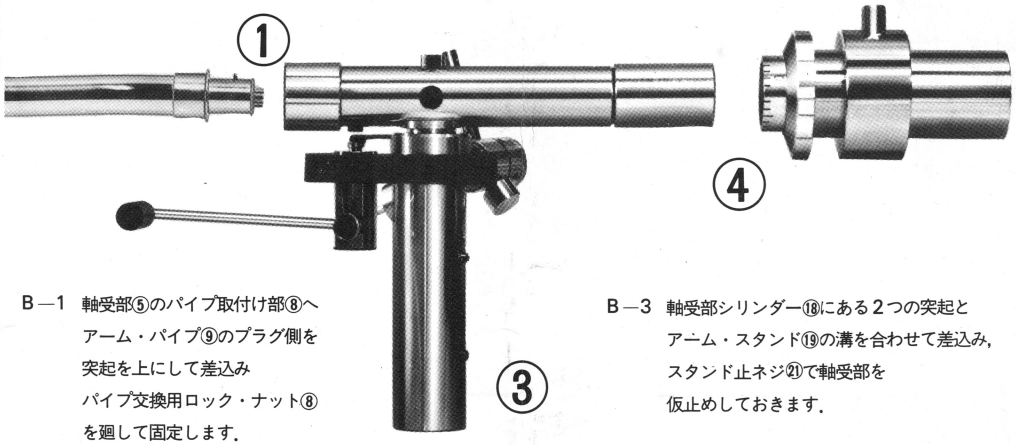
スタンド・止ネジ ㉑

アーム・レスト ㉒

⊕ドライバー ㉓
カートリッジ取付けにお使い下さい.
(シェルの傾き調整にも使えます.)

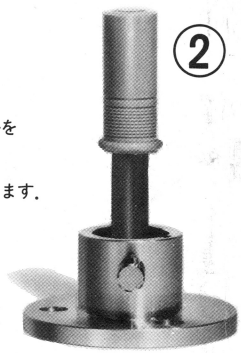
スペーサー ㉔
カートリッジを取付ける際,その後端が,補強リブにつかえる場合 使用します.

B アームの組立て



B—1 軸受部⑤のパイプ取付け部⑧へ
アーム・パイプ⑨のプラグ側を
突起を上にして差込み
パイプ交換用ロック・ナット⑧
を廻して固定します.
この時 軸受部⑥に無理な力が加わ
らないよう，軸受部の水平部を，
手のひらで包み，親指と人差指で
ロック・ナット⑧を回すと
うまくいきます.

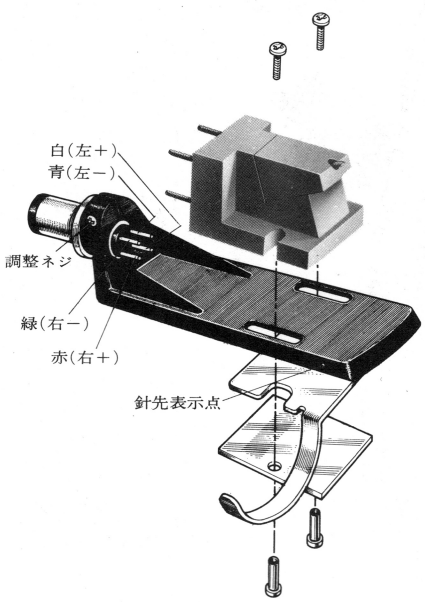
B—2 次に出力コード⑳のピン端子を
スタンド⑲を通して
プレーヤーの外へ出しておきます.



B—3 軸受部シリンダー⑱にある2つの突起と
アーム・スタンド⑲の溝を合わせて差込み，
スタンド止ネジ㉑で軸受部を
仮止めしておきます.

B—4 アーム・パイプ⑨をレスト㉒に固定してから，
軸受部⑤の後方から
ウェイト②③④を差込みます.
クリックに入った所から回転によって
ウェイトを前後できます.

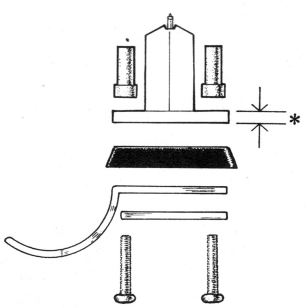
C カートリッジの組立て



C—1 ⊕ネジを1度はずし，カートリッジを
ヘッド・シェル⑪本体にのせ，針先を
いためない様注意しながら 付属の⊕ドライバー㉓で
⊕ネジを軽く締めつけておき，カートリッジを
前後にスライドして 針先をヘッド・シェル⑪の白点に
合わせてから，固定します.
これでオーバーハングが正しくとれます.

C—2 カートリッジによっては，針先を白点に合わせようとすると
後端が補強リブにつかえる事があります.
その時は付属のスペーサー㉔を カートリッジ背面と
シェル⑪の間に挟んで取付けて下さい.

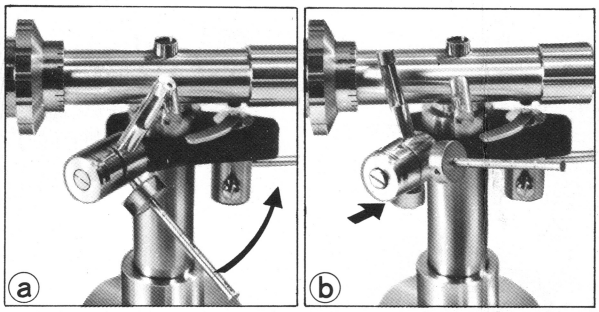
C—3 リード線をカートリッジに，左右 ＋－を間違えない様に
ピンセット等を使って接続して下さい.



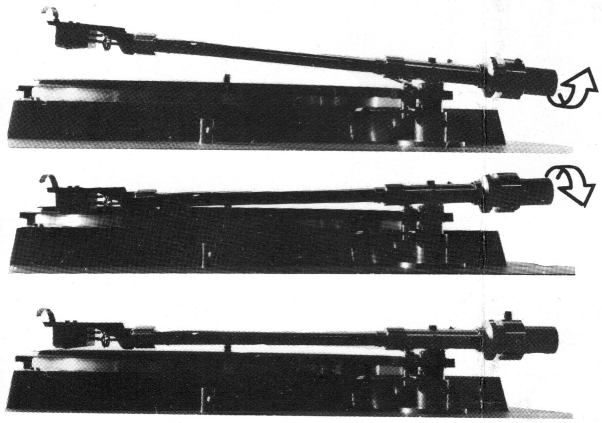
C—4 ⊕ネジは 長短3種類入っていますから
カートリッジにより使い分けて下さい.
＊カートリッジの取付け部が薄い場合は 左図の様に
雌ネジと雄ネジを上下入れ替えてご使用下さい.

C—5 カートリッジの付いたシェル⑪をパイプ⑨へ取付けます.
シェル交換用ロック・ナットをしっかり締めつけます.
(この時 軸受部に無理な力が加わらない様 ご注意下さい.)

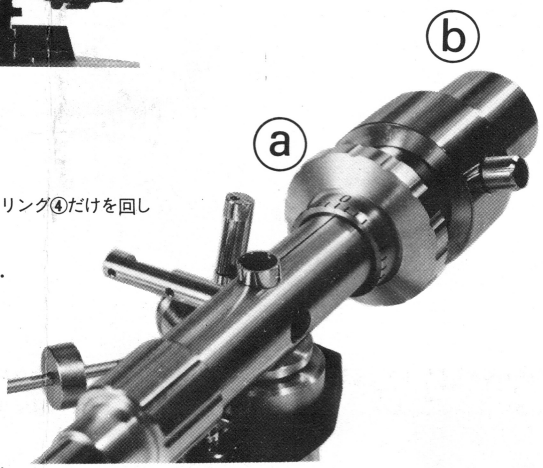
D アームの調整



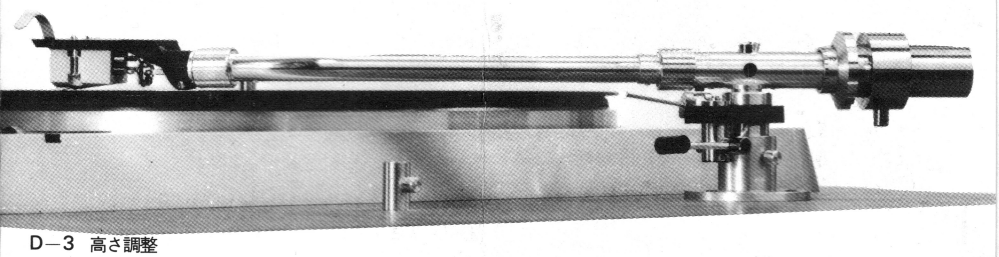
D—1
水平バランスの調整
水平バランスを調整する前に，
キャンセラー⑭をⓑの状態にして
バイアス解除クラッチ⑮をロック(押す）します．
バランス・ウェイト②のおよそ中心あたりに
リング・ウェイト③を止めます．



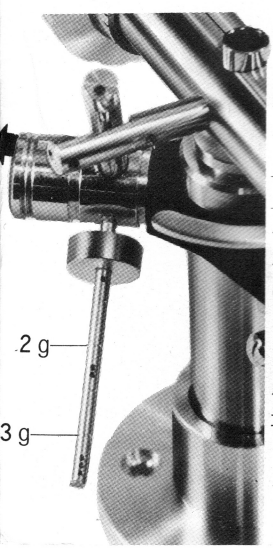
バランス・ウェイト②を回して　アームが
水平になる様にします．水平にならない時は
リング・ウェイト③を適宜前後させてから，
再びバランス・ウェイト②を回します．



D—2　針圧調整
水平バランスがとれたら　ⓐウェイト前部の針圧リング④だけを回し
（ウェイト本体は動かさない様に）
0グラム標示を軸受部⑤上部の線上に合わせます．
ⓑ次に　バランス・ウェイト②本体を回すと
針圧リング④も同時に回転しますから，
所要の針圧値の点で止めて下さい．
目盛は0.1ｇステップ，1回転で3g（UA—7），
あるいは2g（UA—70）になります．
もちろんそれ以上の針圧を掛けることもできます．



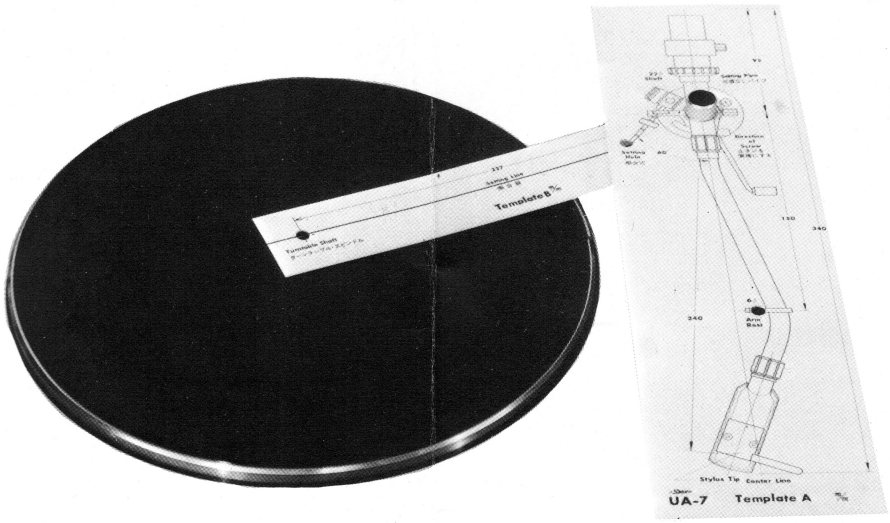
D—3　高さ調整
針先をレコード面におろした時，アーム・パイプ⑨がレコード面に平行になるように軸受部の高さを調整します．
高さ〔プレーヤー・ボードとシェル・カートリッジ取付面の間〕は45mmから78mmまで可変できます．
調整後，スタンド止ネジ㉑はしっかり締めておいて下さい．



D—4
インサイド・フォース・キャンセラーの調整
水平バランス調整の時ロックしたバイアス調整クラッチ⑮を引いて，
キャンセラーが動作状態になる様にします．
これを忘れると軸受部の動きが規制され，
レコードや針先を傷めることがありますからご注意下さい．
バイアス量は針圧によって調整します．
バイアス調整ウェイト⑯を使用針圧と同じ値の位置に合わせて下さい．
（図は1.0gを示しています．）厳密に言えば　同一針圧でもカートリッジやレコードによって
インサイド・フォース量は変化します．
もし指定値で満足な結果が得られない場合は，
バイアス調整ウェイト⑯を上記位置より多少前後にずらして
耳で聴いて最も良い位置にセットして下さい．
ブラッシュ付カートリッジの場合は，
その仕様によりバイアス量を定めて下さい．

●カートリッジを交換した場合は
D1，2，3，4の順で再調整します．

A　アーム・スタンドの取付け



A—1
まず，アーム・スタンド⑲の
取付け位置及び角度を決めます．
これには付属のテンプリットⒶⒷ，
位置出しパイプ⑬，
及びアーム・スタンド⑲を用います．
（位置出しパイプ⑬は取付けに際してのみ使うものです．）

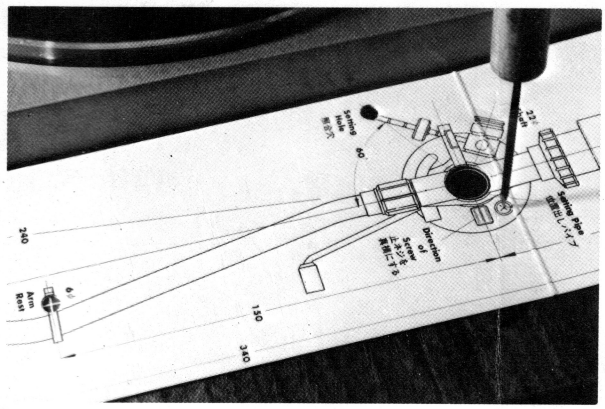
A—2
上図の様にテンプリットⒶの下にⒷをかさね，ⒶⒷのスタンド中心穴を合わせ，ここに位置出しパイプ⑬を挿入し，アーム・スタンドに通します．（ネジは締めないでおく．）

A—3
Ⓑの照合線がⒶの照合穴におさまる様にⒶⒷをかさねます．

A—4
図の様にⒷのスピンドル穴を，
ターン・テーブル中心にはめます．

A—5
Ⓐの中心線がプレーヤーの側面におよそ平行になる様にテンプリットを動かして，スタンド中心穴の位置を決めます．
この時　位置出しパイプ⑬を上から押しつけるとプレーヤー・ボードに○印をつける事ができます．

A—6
この時　アーム・レスト㉒取付け穴（6φ）の位置にもキリ等で印を，つけておきます．



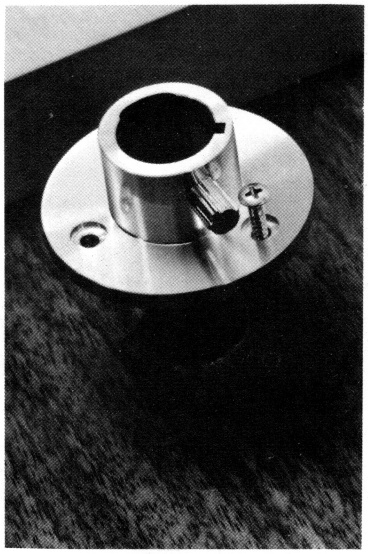
A—7　さて　テンプリットⒶだけを使ってスタンド⑲を止める木ネジの穴位置をだします．
すなわち　位置出しパイプ⑬によってつけた○印と，アーム・レスト㉒取付け穴の印に合わせてテンプリットⒶをプレーヤー・ボードにのせ　木ネジ取付け穴（図の㊉）の上からキリで印をつけておきます．

A—8　次に位置出しパイプの○印の所に22φ～24φの穴をあけ，アーム・レスト取付け穴印には，6φの穴をあけます．木ネジの取付け用の穴もキリで揉んでおきます．

A—9　アーム・スタンド⑲を22φ～24φの穴の上におき，スタンド止ネジ㉑がテンプリットⒶの図の様に真横にくるように位置を決めて木ネジを1本仮止めします．

A—10　最後に再びテンプリットⒶⒷと位置出しパイプ⑬を使い，細かく位置を合わせて，残り2本の木ネジでアーム・スタンド⑲を固定します．

A—11　アーム・レスト㉒を取り付けます．
6φの穴に　アーム・レスト㉒をさし，ワッシャーを下から通して六角ナットでしっかり締めます．



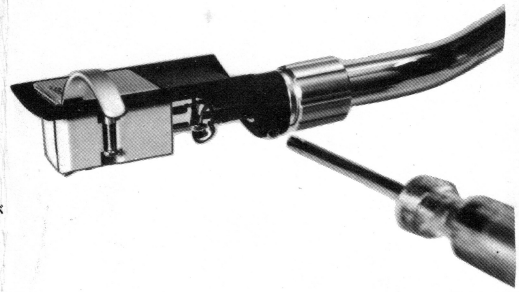
E その他

E－1 アーム・リフトの使い方

リフト・レバー⑦を一杯に上げておき，
シェルの指かけを持って 針先を
レコード面の所要の位置に合わせレバーを下げます．
レコードの最外周は急斜面のグルーブ・ガードで，
ここに針をおろすと針飛びすることがありますから，
ここを避け，録音溝のはじめにセットして下さい．

E－2 出力コードのピン端子の接続

出力コードのピン端子をアンプへ接続します．白が左，赤が右チャンネルです．
ハム，バズ音等の雑音を引く場合には，モーター，ターンテーブル，
アーム・アースを結線して下さい．



E－3 シェルの傾き調整

ターン・テーブル表面とプレーヤー・ボードが
完全に平行でない場合など，
アームを前から見て針先が左右方向に傾斜することが
あります．この時は，シェルの調整ネジをゆるめて，
左右の傾きを直して下さい．

UA-7/70規格 ■形式 パイプ交換式マルチ・ユース・インテグレーテッド型 ■適合カートリッジ マグネティック型およびコンデンサー型 ■軸受 特殊2点支持方式（高感度宝石軸受およびボールベアリング外輪によるスタビライザー） ■バランス方式 スタティック・バランス ■シェル U字型無共振構造 針先位置可変(8mm) ■リフト オイル制動方式 ■出力コード ノイズレス低容量 長さ120cm ■高さ調整範囲（プレーヤー・ボードとシェル・カートリッジ取付面の間）45～78mm

	UA-7	UA-70
回転感度	5 mg以下	5 mg以下
トラッキング・エラー	0.10°/cm以下	0.08°/cm以下
針　　圧	3g/1回転(0.1gステップ)	2g/1回転(0.1gステップ)
インサイド・フォース・キャンセラー	1g～3g可変(0.5gステップ)	1g～3g可変(0.5gステップ)
適合カートリッジ自重	2g～16g	0g～15g
同サブウェイト使用時	約35g(シェルを含む)	約32g(シェルを含む)
オーバー・ハング	13mm	12mm
軸受中心←→ターンテーブル中心	227mm	300mm
実 効 長	240mm	312mm
全　　長	340mm	420mm

ご注意

どの部分にも注油の必要はありませんので、なさらないでください。アームだけで持運び又は郵送する場合は、必ずもとのパッケージに納めた上で、お願いいたします。軸受部、リフト、キャンセラーは各々精密に組立調整されております。内部その他を勝手に分解されたものについては修理をお引受け出来かねますので、ご了承ください。品質管理には十分注意しておりますが、万一不調の場合には、お買上げ店又は本社へお持ちいただくか、お送りください。郵送の場合は必ずパッケージをダンボール箱に入れ、その箱をひとまわり大きいダンボール箱にパッキングと共につめてお送りください。

PRINTED IN JAPAN 76－I 5K©STAX.

STAX
スタックス工業株式会社
東京都豊島区雑司が谷1-25-5 ☎03(981)7227 〒171